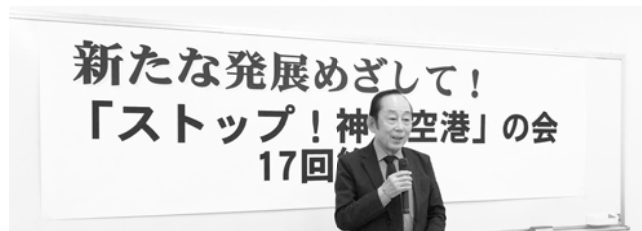


「ストップ！神戸空港の会」第17回総会で解散

神戸市政を考える懇談会へ



総会であいさつする武村義人副支部長

「ストップ！神戸空港の会」の第17回総会が10月16日、神戸市勤労会館で行われた。同会は、1995年の阪神・淡路大震災後、当時の笹山市長が「復興のシンボル事業として神戸空港を建設する」と表明したことから、「住民投票条例制定を求める」署名運動や、「神戸空港賛否・市民投票」などの運動が相次ぎ、その後、2002年に神戸空港に対する市民の運動を続けようと立ち上げられたもの。協会は、武村義人神戸支部副支部長が、同会代表の一人として参画してきた。

同会事務局長の北岡浩氏は、「神戸空港は運

営権を関西エアポートに売却し、市営空港ではなくなった」ことから、「会をいったん解散し、神戸市政が進める巨大開発を監視する『市民目線で神戸市政を考える懇談会』へ会の名称、目的と活動を変更する」と提案し、承認された。

協会神戸支部は、「ストップ神戸空港」の趣旨に賛同して参画してきた経緯から今次総会で退会することとした。しかし神戸市の開発主義等については、会員医療機関への影響も大きく、今後も友好団体として支援していくことにしている。武村義人先生は、新組織に引き続いて代表に就任した。

<今後の企画>

医療安全管理研修会

外来における院内感染対策(仮)

日程 2019年2月16日（土）15：00～17：00

会場 協会会議室

講師 国立病院機構神戸医療センター呼吸器内科部長

土屋貴昭先生

参加費 1000円（受講証を発行）

兵庫県保険医協会

320号 2018年12月15日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

職員接遇研修会 感想文

現場で実践したい内容が盛り沢山



(左) 感じの良い話し方についてレクチャーする水原道子先生

(右) 知らない参加者と会話するワークショップをすることで、限られた時間にどれくらいの話ができるのかを確認

神戸支部は12月1日、JEC日本研修センター神戸元町で職員接遇研修会「患者接遇上級編～感じの良い話し方とクレーム対応～」を開催。大手前短期大学の水原道子前教授が講演し、会員・スタッフら55人が参加した。参加者の感想を紹介する。

初めて受講させていただきました。患者様には誠意を持って対応してきたつもりでしたが、自分の接遇が患者様から見てどのように映っているのか常々気になっておりましたので、このたび研修の案内をいただいた時、ぜひ参加した

いと思えました。

最初にレジュメを見た時、A3の見開き1枚だったので、正直「これだけ？」と少し驚きましたが、研修が終わる頃には、内容が盛り沢山

(2面にづく)

（1面からのつづき）
でメモでいっぱいになりました。

患者様に、これからもこの病院にかかりたい
と思っていただくにはどうしたら良いか、環境
作りをはじめ私たちが今まで漠然としか考えら
れていなかったことを、具体的に、かつ細かく
教えていただき、そのためにはどんなことに気
をつければ良いのか、とても勉強になりました。

また、患者様に対する失礼のない言葉遣いは
もちろんですが、それに加え、声の高さや言い
方、身体の動かし方等、言葉以外の技術がある
ことを今回はじめて知りました。朝や夕方のお

いさつの仕方、話を引き出す時の言い方等、最
初はうまくできないと思いますが、早速月曜日
から実践してみようと思っております。

今回は1人で受講しましたが、周りは複数人
で参加されているところもあり、シフトで動い
ている私たちには難しいことではありますが、
医事課みんなで受講できればもっとよかったな
と、残念に思います。

今後もこのような研修があれば、ぜひ受講し
たいと思っております。本当にありがとうござ
いました。

【灘区・昭生病院 医事課 I・M】

研究会「医療機関での個人情報の取り扱い」

個人情報に関する知識深まる



参加者から事前に寄せられた具体的事例をもとに

増田正幸弁護士（左）が個人情報の取り扱いについて解説

神戸支部は11月17日、研究会「医療機関での
個人情報の取り扱い～第三者提供、関連法令
やガイドライン」を開催。神戸あじさい法律事
務所所属の増田正幸弁護士が講師を務め、病院
や診療所の医師、スタッフら46人が参加した。

増田弁護士は、法律やガイドラインに基づき
ながら、患者の個人情報に関する医療機関での

取り扱いの原則を説明。警察や保険会社からの
カルテ照会や、患者家族からの問い合わせなど
の具体的事例について、事前に寄せられた質問
も踏まえ解説した。

講演後も、参加者から多数の質問が出され、
講師が一つひとつ丁寧に答えた。

（次号に感想文を掲載予定）

健康と医療について語り合う会 感想文

腸内環境について学ぶ



善玉菌などの働きについて講義する高田千秋氏（右）

神戸支部は11月22日に、あすてっぶ神戸で健康と医療について語り合う会を開催した。これは
聴覚障害者が医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考え
る会（いのちを考える会）」の講師派遣の要請に応えているもの。ピオフェルミン製薬株式会社営
業推進部学術情報グループの高田千秋氏（薬剤師）が「腸内環境と健康」と題して講演し、市民、
聴覚障害者の方を中心に25人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

今回は「腸内環境と健康」のテーマで、「腸
内フローラ」について、とてもわかりやすく教
えていただきました。

健康に関する情報がテレビや新聞・雑誌、ネッ
トに溢れる中、言葉は聞いたことがあっても中
身は知らなかったり、どの情報が正しいのか知
らずに取り入れていることも多くあります。

「腸内フローラ」「善玉菌」「悪玉菌」など、
スーパーで商品に書かれているのを見て「健康
に良さそう」というだけで買い求めていました
が、果たしてそれが何者なのか、何をしてくれ
るものなのかは詳しくは知りませんでした。
「日和見菌」があることも初耳でしたし、体に
良いと言われる食物を何でも取り入れるのでは
なく、自分に合う菌を見つけることが大事だ
というお話も大変ためになりました。

講師のご勤務先である「ピオフェルミン製薬」

は、神戸市にある会社としても参加者に馴染み
深く、皆、親近感を持ってお話を聞いていた
と思います。

健康情報が溢れていると言っても、聴覚障害
者にとっては、テレビでは字幕が付かなければ
情報は得られません。また新聞やネットを読む
にしても、手話を母語とする聴覚障害者にと
っては、英語が苦手な人が英文を読むようなもの
です。

そのような中、この会は「健康」という命に
関わる大事なテーマについて、聞こえない人も
聞こえる人も医療の専門家から直接、しかもわ
かりやすくお話を聞ける大事な機会だと思いま
す。今後も長く続いてくれることを期待して
おります。

【兵庫県手話通訳問題研究会会員 川嶋 寿枝】